

横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針

平成 21 年 11 月 横浜市教育委員会

横浜市では、魅力ある市立高等学校の実現を目指して、横浜商業高等学校の国際学科の設置や横浜サイエンスフロンティア高等学校の開校など、様々な高校改革を進めています。そのような中、平成 10 年の学校教育法の一部改正により、中高一貫教育校の設置が可能となり、全国各地で設置が進み、関東地方の都県においても開校が相次いでいます。

本市でも、経済的に負担の少ない、公立の中高一貫教育を受けたいという市民ニーズに応えるため、設置に向けた検討を重ねてきました。平成 24 年度、南高等学校に附属中学校を設置し、併設型の中高一貫教育校として開校します。

1 教育効果

- (1) 生徒が 6 年間、高校入試の影響を受けずに、安定した環境の中で余裕のある学校生活を送ることができます。
- (2) 6 年間の計画的・継続的な教育活動を展開することができます。
- (3) 学年の異なる生徒同士が、特別活動や部活動などの共通の活動を通し、社会性や豊かな人間性を育成することが期待できます。
- (4) 6 年間にわたり、将来の横浜を支えていく子どもたちの優れた才能を発見し、個性豊かにたくましく、また、豊かな創造性を育てることができます。
- (5) 6 年間一貫した教育の視点に立って、横浜の様々な分野で活躍する、志の高いリーダーとなる人材を育成することができます。

2 南高等学校に設置する理由

- (1) 創立以来、半世紀の伝統と実績があり、広く市民から信頼が寄せられています。
- (2) 国公立大学への進学実績など、一定の評価を得ています。
- (3) 敷地面積が市立高校の中では最も広く、施設設備が充実しています。
- (4) 学校教育目標に「全人教育」を掲げ、「文武両道」の精神に基づいた教育活動を実践し、「高い学力を身につけた、将来のリーダーの育成」を目指しています。

3 学校規模等

附属中学校

1 学年 4 学級 1 6 0 人定員（3 学年全体で 1 2 学級 4 8 0 人）

- ・ 適性検査や面接などの入学者選抜を経て入学する生徒 1 6 0 人

南高等学校

1 学年 5 学級 2 0 0 人定員（3 学年全体で 1 5 学級 6 0 0 人）

- ・ 附属中学校からの進学者 1 6 0 人
- ・ 高等学校の入学者選抜を経て入学する生徒 4 0 人

4 開校までのスケジュール

| | 平成 21 年度 | 平成 22 年度 | 平成 23 年度 | 平成 24 年度 |
|------|---------------|-----------------------------|---------------|----------|
| 教育内容 | ○教育目標と教育内容の検討 | ○教育課程、学校行事計画の決定 ○教科書採択方針 | ○教科書採択 | 開 校 |
| 職員配置 | ○職員配置計画立案 | ○中高の免許のある教員を配置 | | |
| 施設設備 | ○施設改修計画立案 | ○施設改修の設計 | ○施設改修実施 | |
| 適性検査 | ○試作問題の作問 | ○試作問題公表 ○適性検査作問 | ○適性検査等による選抜実施 | |
| 広 報 | ○計画公表 | ○学校説明会 | ○学校説明会 | |

*平成 24 年度は、中学校学習指導要領（平成 20 年 3 月告示）完全実施年